

信州大学教育学部附属長野中学校 オンライン交流会2024



私たちと一緒に語りませんか？

参加
無料

2024. **7/26** (金) 13:00 ~ 14:00

【第1弾】各教科の授業づくりや評価の工夫

本日は
信州大学教育学部附属長野中学校
オンライン交流会2024に
ご参加いただき
誠にありがとうございます

《参加者の皆様へのお願い》

- ・表示名を右のように変更をお願いします
(ブレイクアウトルームの割り振りに使用します)
- ・画面の写真撮影・スクリーンショットや
録音・録画はご遠慮ください
- ・交流会中は、**ビデオはON**、
マイクは発言時以外ミュートでお願いします

【表示名の例】

A 信州太郎 (附属長野中)

お名前

所属校名

参加希望ブレイクアウトルーム



信州大学
SHINSHU UNIVERSITY

教育学部
附属長野中学校

《 本日の日程 および ブレイクアウトルーム一覧 》

【第1弾】各教科の授業づくりや評価の工夫

<全体会> 13:00～13:10 (10分)

<教科ごとの交流会> 13:10～14:00 (50分)

A : 国語

B : 社会

C : 数学

D : 理科

E : 音楽

F : 美術

G : 保体

H : 技家

I : 英語

J : 道徳

《参加者の皆様へのお願い》

- ・ 表示名を右のように変更をお願いします
(ブレイクアウトルームの割り振りに使用します)
- ・ 画面の写真撮影・スクリーンショットや
録音・録画はご遠慮ください
- ・ 交流会中は、**ビデオはON、**
マイクは発言時以外ミュートをお願いします

【表示名の例】

A 信州太郎 (附属長野中)

お名前

所属校名

参加希望ブレイクアウトルーム



信州大学
SHINSHU UNIVERSITY

教育学部
附属長野中学校

授業づくりについて

R6.07.26 信大附属長野中学校オンライン交流会2024



<https://www.shinshu-u.ac.jp/faculty/fuzoku/nagano-chu/> (HP)



https://twitter.com/F_Nagano_JH (X)



https://www.instagram.com/shindai_fuzoku_nagano_jh/ (Instagram)



授業づくりで意識したいこと

教育課程・学習指導改善の三つの重点

※ 令和6年度教育課程編成・学習指導の基本「青本」より

令和6年度
(2024年度)

教育課程編成・学習指導の基本



長野県教育委員会

学びの改革支援課

令和6年度 教育課程・学習指導改善の目標

一人の子供も取り残されない「多様性を包み込む」学びの推進

重点1

資質・能力の育成に向けた「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善

「探究する授業」

〈目指す学びの改革〉

子供たちが主体的に学び，仲間と共に解を導き出す学びへの転換

重点2

カリキュラム・マネジメントの
充実による教育活動

「共創する教育課程」

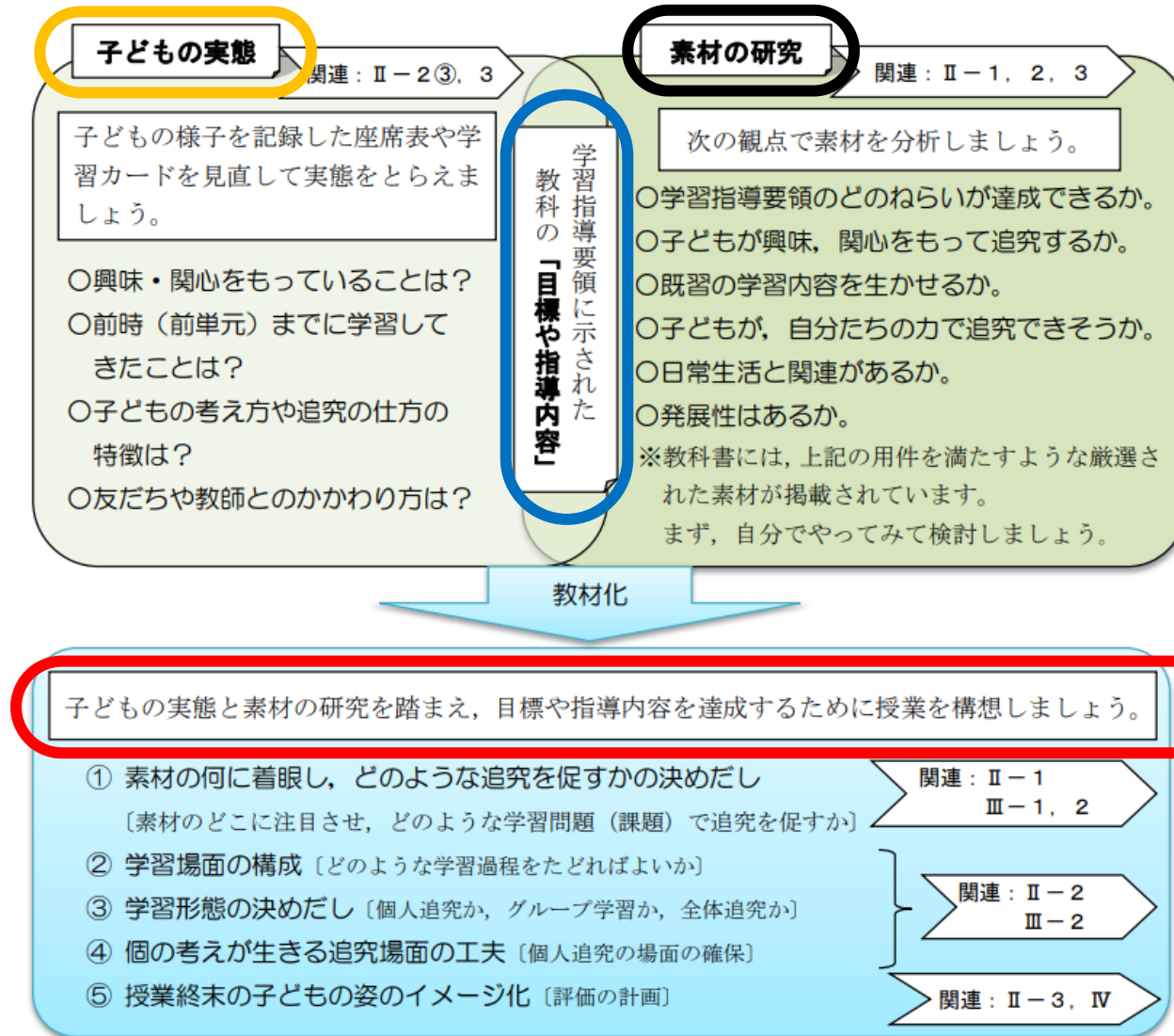
重点3

家庭や地域社会との
連携・協働

「つながる学校」

授業づくりで意識したいこと

授業づくりの観点



子どもの実態

素材の研究

目標や指導内容

授業の構想

授業づくりで意識したいこと

授業がもっとよくなる3観点

※ 令和6年度教育課程編成・学習指導の基本「青本」より

ねらいを明確に

学習問題(課題)を黒板等に分かりやすく示しましょう

- 第一に、本時の到達目標でもあるねらいを明確にして授業に臨みます。ねらいが不明瞭であると、導入段階で子供が課題を把握するのに時間を費やしてしまいます。課題把握がスムーズにできるよう本時の展開の構想を明らかにしておきましょう。
- 子供が、「なぜ?」「どうして?」という問題意識や、「やってみたい!」「何とかしたい!」など追究意欲をもてるよう工夫し、子供と共に学習課題を設定しましょう。



【学習問題】は
生徒の問いや願いに
なっているか?

めりはりをつけて

触れて・関わって・考えて・感じて学ぶ場面をつくりましょう

- 第二に、学習内容にめりはりをつけることです。触れて学ぶ場面、関わって学ぶ場面、考えて学ぶ場面、感じて学ぶ場面を位置付けることで、実感的な理解が可能となります。学習内容に応じて授業の流れにどのようなめりはりをつけていくか、教材研究を十分に行いましょう。
- 関わって学ぶ場面では、子供たち自身が多様な考えを組み合わせ、自己の考えを広げたり深めたりすることができるように課題を設定しましょう。



【学習課題】は
生徒の必要感のあるもの
なっているか?

ねらいの達成を見とどけて

見返しや、定着・発展問題を行う時間をとりましょう

- 第三に、授業の終末では、ねらいの達成を確実に見とどける必要があります。本時のねらいは達成されたのか、ノート等の記述や定着問題等から具体的に評価します。
- 皆で追究を見返し、子供の言葉で本時習得すべき内容をまとめる、その内容を活用して定着・発展問題を行う時間を確保して個々の子供の実態を把握する、補充的な学習が必要な子供には個別指導をていねいに行い、その時間内で学習内容を定着させることなどを大切にしましょう。



【振り返り】で
生徒は自己の学びを
自覚できているか?

授業のポイント（要点）を主眼で示す

授業の中身は「主眼」で示す

※ 学習指導要領を踏まえた教育課程学習指導の手引「信州教育の学びの基盤」より

① 何ができるようになるか

目標を明確にすることが大切です。主眼の末尾をどう記述するか、検討することが大切です。「考えることができる」「理解することができる」「意欲を高める」など、その1時間（単元）でどのような資質・能力を育てるのか、「つける力」をきちんと決め出すことが大切です。

主眼の末尾【評価】
「～することができる。」



育成したい資質・能力

③ どのように学ぶか

「どのように学ぶか」の学習活動は、指導案の中では、多くは主眼の「～の活動を通して」の部分に記述されます。問題解決の過程を児童・生徒が主体的に取り組めるようにする必要があります。子供が興味・関心を高め、自分と結び付け、見通しをもって粘り強く取り組み、振り返って次につなげることが大切です。見通しをもって追究するためには、児童生徒の予想や解決の見通しを基に、児童生徒とともに学習課題を設定していくことが大切です。

主眼の活動【学習課題】
「～の活動を通して、」



各教科等の「見方・考え方」
が働いている活動

授業のポイント（要点）を主眼で示す

各教科等の見方・考え方

※ 令和6年度教育課程編成・学習指導の基本「青本」より

令和6年度
(2024年度)

教育課程編成・学習指導の基本



長野県教育委員会

学びの改革支援課

言葉による見方・考え方	対象と言葉、言葉と言葉との関係を、言葉の意味、働き、使い方等に 着目して捉えたり問い直したりして、言葉への自覚を高めること
社会的な見方・考え方	社会的な事象の見方・考え方 (小学校)
	社会的な事象の地理的な見方・考え方 (地理的分野)
	社会的な事象の歴史 的な見方・考え方 (歴史的分野)
	現代社会の見方・ 考え方 (公民的分野)
数学的な見方・考え方 (算数)	事象を数量や図形及びそれらの関係などに着目して捉え、根拠を基に筋 道を立てて考え、統合的・発展的に考えること
数学的な見方・考え方 (数学)	事象を数量や図形及びそれらの関係などに着目して捉え、論理的、統合 的・発展的に考えること
理科の見方・考え方 (小学校)	自然の事物・現象を下のような視点で捉え、問題解決の過程の中で用い る、比較、関係付け、条件制御、多面的に考えること *「エネルギー」を往とする領域では、主として量的・関係的な視点 *「粒子」を往とする領域では、主として質的・実体的な視点 *「生命」を往とする領域では、主として多様性・共通性の視点 *「地球」を往とする領域では、主として時間的・空間的な視点
理科の見方・考え方 (中学校)	自然の事物・現象を、質的・量的な関係や時間的・空間的な関係などの 科学的な視点で捉え、比較したり、関係付けたりするなどの科学的に探 究する方法を用いて考えること
身近な生活に関わる見 方・考え方	身近な人々、社会及び自然を自分との関わりで捉え、よりよい生活に向 けて思いや願いを実現しようとする
音楽的な見方・考え方 (小学校)	音楽に対する感性を働かせ、音や音楽を、音楽を形づくっている要素と その働きの視点で捉え、自己のイメージや感情、生活や文化などと関連 付けること
音楽的な見方・考え方 (中学校)	音楽に対する感性を働かせ、音や音楽を、音楽を形づくっている要素と その働きの視点で捉え、自己のイメージや感情、生活や文化、伝統や文 化などと関連付けること

造形的な見方・考え方 (図画工作)	感性や想像力を働かせ、対象や事象を、形や色などの造形的な視点で捉 え、自分のイメージをもちながら意味や価値をつくりだすこと
造形的な見方・考え方 (美術)	よさや美しさなどの価値や心情などを感じ取る力である感性や、想像力 を働かせ、対象や事象を造形的な視点で捉え、自分としての意味や価値 をつくりだすこと
体育の見方・考え方	運動やスポーツを、その価値や特性に着目して、楽しさや喜びとともに 体力の向上に果たす役割の視点から捉え、自己の適性等に応じた『す る・みる・支える・知る』の多様な関わり方と関連付けること
保健の見方・考え方	個人及び社会生活における課題や情報を、健康や安全に関する原則や概 念に着目して捉え、疾病等のリスクの軽減や生活の質の向上、健康を支 える環境づくりと関連付けること
生活の営みに係る見方・ 考え方(家庭)	家族や家庭、衣食住、消費や環境などに係る生活事象を、協力・協働、 健康・快適・安全、生活文化の継承・創造、持続可能な社会の構築等の 視点で捉え、よりよい生活を営むために工夫すること
技術の見方・考え方	生活や社会における事象を、技術との関わり方の視点で捉え、社会から の要求、安全性、環境負荷や経済性などに着目して技術を最適化すること
外国語によるコミュニ ケーションにおける見方・ 考え方	外国語で表現し伝え合うため、外国語やその背景にある文化を、社会や 世界、他者との関わりに着目して捉え、コミュニケーションを行う目的 や場面、状況等に応じて、情報を整理しながら考えなどを形成し、再構 築すること
探究的な見方・考え方 (総合的な学習の時間)	各教科等における見方・考え方を総合的に活用して、広範な事象を多様 な角度から俯瞰して捉え、実社会・実生活の課題を探究し、自己の生き 方を問い続けること
集団や社会の形成者とし ての見方・考え方 (特別活動)	各教科等の見方・考え方を総合的に働かせながら、自己及び集団や社会 の問題を捉え、よりよい人間関係の形成、よりよい集団生活の構築や社 会への参画及び自己の実現に向けた実践に結び付けること
道徳科における見方・考え方は示されていませんが、道徳科の学習を進めるに当たっては、小学 校では、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方について考えを深めること(中 学校では、自己を見つめ、物事を広い視野から多面的・多角的に考え、人間としての生き方につい て考えを深めること)が求められています。	

授業のポイント（要点）を主眼で示す

【主眼の例】

ガソリン車とハイブリット車ではどちらがお得かを考える場面で、
相手によって条件が異なることに着目し、
走行距離などの情報を整理することを通して、
相手の条件に合わせた経済的にお得な車を論理的に説明することができる。

働かせたい「**数学的な
見方・考え方**」は？

本時で身に付けさせ
たい**資質・能力**は？



ガソリン車とハイブリット車ではどちらがお得かを考える場面で、
月当たりの走行距離と使用年数に着目し、
走行距離とガソリン代の関係を比例とみなして考察することを通して、
目的に応じて表・式・グラフを選択したり作成したりすることができる。

“授業づくり”は授業を参観し合うことから

「当たり前前の授業とは？」熊谷有紀子

(文部科学省初等中等教育局教育課程教科調査官

国立教育政策研究所教育課程研究センター研究開発部教育課程調査官)

信濃教育第1651号（令和6年6月）より



●授業を変えるには

(前略) それまでの私は、他の先生の「授業を見ること」が面倒でなりませんでした。なぜなら、家庭科以外の教科等の授業を見ても、家庭科の指導には関係ないと考えていたからです。授業を見ている最中は、「つまらないなあ」「早く終わらないかなあ」と思っていました。このような私が、「授業を見ること」が大切だと気付いたのは、私の「授業を見てもらうこと」の大切さに気付いたからです。

(中略) 「授業を見てもらうこと」が大切だと思えるようになった私は、「先生方に一生懸命授業を見ていただいたのだから、私も一生懸命授業を見よう。それは、子どものためであり、私の授業を変えるためでもある」と考えるようになりました。

そして、「私も子どもの姿を授業者の先生に伝えられるようになりたい」と、授業を見るときには子どもの姿を見るようになりました。すると、「早く終わらないかなあ」などと考えている暇はありませんでした。(後略)

“授業づくり”は授業を参観し合うことから

授業参観で心掛けたいこと

○生徒の顔が見える位置に立つ。

→ 表情やしぐさ等から、生徒の内面の変化を探る

○生徒の追究の様子をつぶさに観察し、メモをする。

→ 発言や記述，表情や間等を総合して考察する

○一人の生徒（グループ）を、1時間の授業を通して観察する。

→ 生徒の変容を捉え，生徒の姿から授業を考察する

懇談会（授業研究会）では，生徒の姿を基に語る

“授業づくり”は授業を参観し合うことから

「専門教科以外の授業参観」も積極的に！

●教科のフィルターをかけて授業を観ていることの自覚

●「子どもの姿」を観る，記録する

●「子どもの姿」を基にリフレクションする

「一人の子ども」の異なる教科の授業での姿を観る

→ より深い「子ども理解」に

異なる専門教科の学生同士のリフレクション

→ より深い「授業理解（授業を見る目）」に

評価・評定について

R6.07.26 信大附属長野中学校オンライン交流会2024



<https://www.shinshu-u.ac.jp/faculty/fuzoku/nagano-chu/> (HP)



https://twitter.com/F_Nagano_JH (X)



https://www.instagram.com/shindai_fuzoku_nagano_jh/ (Instagram)



学習評価の目的

- ◆ 児童生徒自身が、自らの学習を振り返って次の学習に向かうことができるようにすること
- ◆ 教師が、「児童生徒にこういった力が身に付いたか」という学習の成果を的確に捉え、自身の指導の改善を図ること

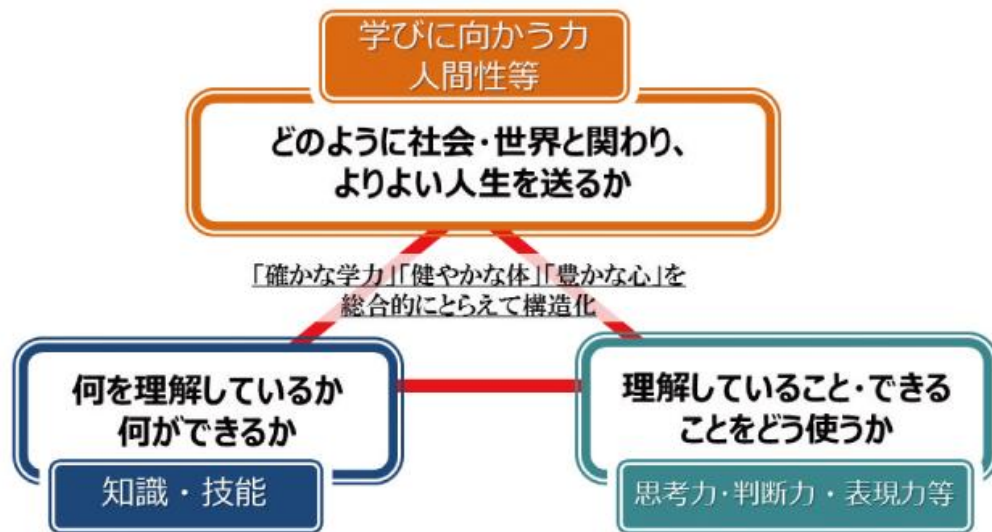


教育課程や学習・指導方法の改善と一貫性のある取組を進める



指導と評価の一体化を図る

通知表の目的（指導と評価の一体化）



「知識・技能」の評価の方法

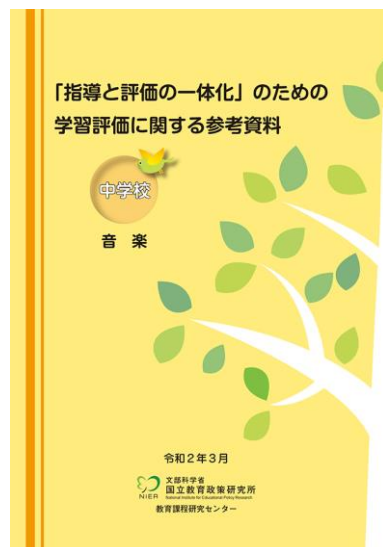
「知識・技能」の評価の考え方は、従前の評価の観点である「知識・理解」、「技能」においても重視してきたところです。具体的な評価方法としては、例えばペーパーテストにおいて、事実的な知識の習得を問う問題と、知識の概念的な理解を問う問題とのバランスに配慮するなどの工夫改善を図る等が考えられます。また、児童生徒が文章による説明をしたり、各教科等の内容の特質に応じて、観察・実験をしたり、式やグラフで表現したりするなど実際に知識や技能を用いる場面を設けるなど、多様な方法を適切に取り入れていくこと等も考えられます。

「思考・判断・表現」の評価の方法

「思考・判断・表現」の評価の考え方は、従前の評価の観点である「思考・判断・表現」においても重視してきたところです。具体的な評価方法としては、ペーパーテストのみならず、論述やレポートの作成、発表、グループや学級における話し合い、作品の制作や表現等の多様な活動を取り入れたりと、それらを集めたポートフォリオを活用したりするなど評価方法を工夫することが考えられます。

「主体的に学習に取り組む態度」の評価の方法

具体的な評価方法としては、ノートやレポート等における記述、授業中の発言、教師による行動観察や、児童生徒による自己評価や相互評価等の状況を教師が評価を行う際に考慮する材料の一つとして用いることなどが考えられます。その際、各教科等の特質に応じて、児童生徒の発達の段階や一人一人の個性を十分に考慮しながら、「知識・技能」や「思考・判断・表現」の観点の状況を踏まえた上で、評価を行う必要があります。



通知表の目的（指導と評価）

主体的に学習に取り組む態度

「自己調整」 + 「粘り強い取組」

16

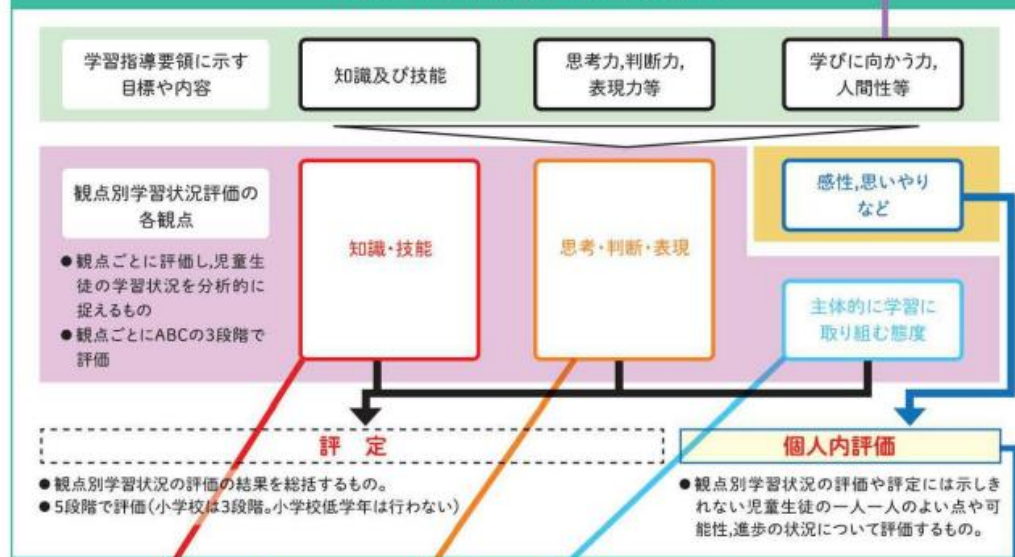
学校

平成29年改訂で、学習指導要領の目標及び内容が資質・能力の三つの柱で再整理されたことを踏まえ、各教科における観点別学習状況の評価の観点については、「知識・技能」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」の3観点に整理されています。

「学びに向かう力、人間性等」には

- ①「主体的に学習に取り組む態度」として観点別評価(学習状況を分析的に捉える)を通じて見取ることができる部分と、
- ②観点別評価や評価にはなじまず、こうした評価では示しきれないことから個人内評価を通じて見取る部分があります。

各教科における評価の基本構造



各教科等における学習の過程を通じた知識及び技能の習得状況について評価を行うとともに、それらを既有的知識及び技能と関連付けたり活用したりする中で、他の学習や生活の場面でも活用できる程度に概念等を理解したり、技能を習得したりしているかを評価します。

各教科等の知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力、判断力、表現力等を身に付けているかどうかを評価します。

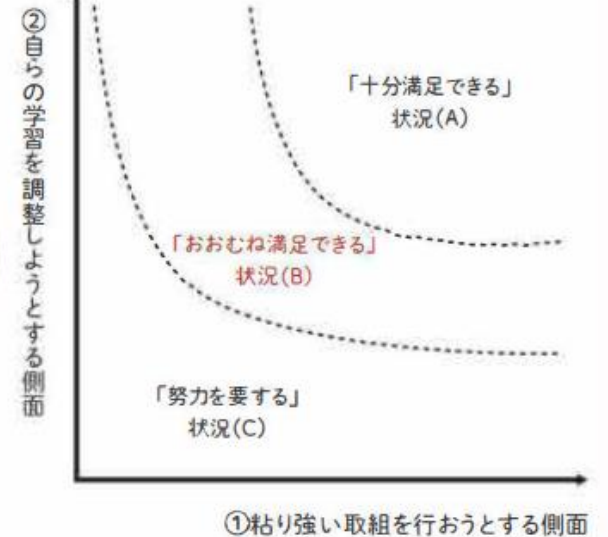
知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりするために、自らの学習状況を把握し、学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら、学ぼうとしているかどうかという意思的な側面を評価します。

個人内評価の対象となるものについては、児童生徒が学習したことの意味や価値を実感できるよう、日々の教育活動等の中で児童生徒に伝えることが重要です。特に、「学びに向かう力、人間性等」のうち「感性や思いやり」など児童生徒一人一人のよい点や可能性、進歩の状況などを積極的に評価し児童生徒に伝えることが重要です。

「主体的に学習に取り組む態度」の評価のイメージ

○「主体的に学習に取り組む態度」の評価については、①知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取組を行おうとする側面と、②①の粘り強い取組を行う中で、自らの学習を調整しようとする側面、という二つの側面から評価することが求められる。

○これら①②の姿は実際の教科等の学びの中では別々ではなく相互に関わり合いながら立ち現れるものと考えられる。例えば、自らの学習を全く調整しようとせず粘り強く取り組み続ける姿や、粘り強さが全くない中で自らの学習を調整する姿は一般的ではない。



ここでの評価は、その学習の調整が「適切に行われるか」を必ずしも判断するものではなく、学習の調整が知識及び技能の習得などに結びついていない場合には、教師が学習の進め方を適切に指導することが求められます。

「自らの学習を調整しようとする側面」とは…

自らの学習状況を把握し、学習の進め方について試行錯誤するなどの意思的な側面のことです。評価に当たっては、児童生徒が自らの理解の状況を振り返ることができるような発問の工夫をしたり、自らの考えを記述したり話し合ったりする場面、他者との協働を通じて自らの考えを相対化する場面を、単元や題材などの内容のまとまりの中で設けたりするなど、「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善を図る中で、適切に評価できるようにしていくことが重要です。

評価・評定の算出方法

I 観点別学習状況

学習指導要領に示す各教科の目標に照らして、その実現状況を観点ごとに、次のように区別して評価を記入する。

A：「十分満足できる」

B：「おおむね満足できる」

C：「努力を要する」

「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料 より

II 評定

各教科の評定は、学習指導要領に示す各教科の目標に照らして、その実現状況を、次のように区別して評価を記入する。

5：「十分満足できるもののうち、特に程度が高い」

4：「十分満足できる」

3：「おおむね満足できる」

2：「努力を要する」

1：「一層努力を要する」

「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料 より

評価・評定の算出方法

I 観点別学習状況

学習指導要領に示す各教科の目標に照らして、その実現状況を観点ごとに、次のように区別して評価を記入する。

A：「十分満足できる」

B：「おおむね満足できる」

C：「努力を要する」

「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料 より

評価物の例（本校数学科の場合）

【評価物】	知	思	主
定期テスト	◎	○	—
レポート課題	○	○	○
単元の振り返り	○	○	○
授業の振り返り 授業の行動観察	○	◎	◎

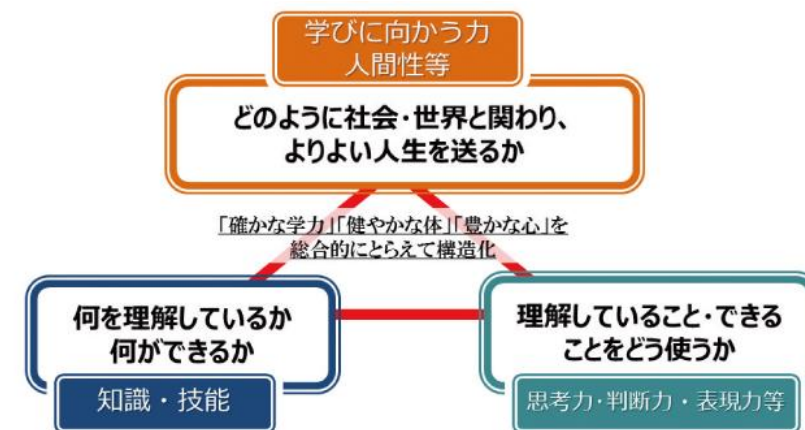
3 観点の割合は全て同じである必要がある（1：1：1）

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
観点の割合	約33%	約33%	約33%

評価・評定の算出方法

◆ 本校は、全教科の A B C の配列を下記のように統一

評定	評価（3観点）	配列パターンの例
5	Aが3つ	AAA
4	AとBのみ	AAB,ABA,BAA,ABB,BAB,BBA
3	Bが3つ	BBB
2	BとCのみ	BBC,BCB,CBB,BCC,CBC,CCB
1	Cが3つ	CCC



I 観点別学習状況

学習指導要領に示す各教科の目標に照らして、その実現状況を観点ごとに、次のように区別して評価を記入する。

A : 「十分満足できる」

➡ B : 「おおむね満足できる」

C : 「努力を要する」

「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料 より

II 評定

各教科の評定は、学習指導要領に示す各教科の目標に照らして、その実現状況を、次のように区別して評価を記入する。

5 : 「十分満足できるもののうち、特に程度が高い」

4 : 「十分満足できる」

➡ 3 : 「おおむね満足できる」

2 : 「努力を要する」

1 : 「一層努力を要する」

「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料 より

附属長野中の学習指導・支援の方向性

◆ 本校は、全教科のA B Cの配列を下記のように統一

評定	評価（3観点）	配列パターンの例
5	Aが3つ	AAA
4	AとBのみ	AAB,ABA,BAA,ABB,BAB,BBA
3	Bが3つ	BBB
2	BとCのみ	BBC,BCB,CBB,BCC,CBC,CCB
1	Cが3つ	CCC

全生徒が「BBB：3」以上になることを



目指した授業や学習支援を行う

（清明塾・学習相談など）

通知表に添付する「各教科の評価の観点

とその趣旨」がB評価の基準となる（絶対評価で評価・評定を算出）

テストの事前指導・事後指導について

【指導と評価の一体化を目指したテストづくり】 R4年度プロジェクト（研究）提案より

- 全学年、**年間のテスト範囲表**を作成する（おおよそのテスト範囲）
 - 生徒も職員も見通しをもって授業を進める
 - 教育実習や研究授業や**あさひのラーニング**等の影響を考慮する
- **教科の枠を越えて**テストの内容を検討する（該当学年以外の職員も含めて）
 - テスト実施日**一ヶ月前**にテスト検討会を設ける
 - 評価したいことを共通認識したうえで、日々の授業での指導に生かす
- 事後指導（テスト返却の仕方）を**教科で統一する**（テスト後の解答例・解説など）
 - テストの翌日返却を行わない（**原則、週明けまたは3日後とする**）※進路関係で例外あり
 - 採点結果からテスト分析を行い、必要な事後指導を行う

令和6年度 公開研究会等の日程

23

信州大学教育学部附属長野中学校 中学校教育研究会 1次案内

長野県教育委員会
「学びの改革パイオニア校」～「探究」推進のための研究～
指定校(2年次)

令和6年10月18日(金)

全校研究テーマ

参加費無料

「キャリア×STEAM」の学習による
新たな価値を創造できる資質・能力の育成 (2年次)

主な公開内容

あさひのラーニング

学際的な学習の時間

各教科での学習を、実社会での問題発見・解決に生かしていく教科横断的な学び
※文部科学省指定「教育課程特例校制度」を活用した新設教科

あさひのプロジェクト

総合的な学習の時間

地域や実社会と関わり、社会の一員としての自覚や将来への見通しをもてるような探究的な学び

長野電鉄の利用客増加のための
魅力発信チーム

全校生徒や一般の方への成果報告の場面

小中学生に長野県の魅力を知ってもらうための
カードゲーム制作チーム



国立長野高専の学生方から
アドバイスをもらう場面

オフィスカジュアルを目指した
仕事服の製作チーム



協力企業との打合せ場面



企業に提案した
デザイン



企業が試作した
服の試着場面

本校ホームページ、公式SNS上に、公開に関する情報を随時更新していく予定です。



信州大学教育学部附属長野中学校 公開事務局
〒381-0016 長野県長野市南堀109 TEL: 026-243-0633
Email: nc_jimukyoku@shinshu-u.ac.jp (担当: 柳澤征之)

10月18日(金)に中学校教育研究会を開催予定

申し込みや本校の研究・取組についてはHPで公開中!

信州大学HOME 信州大学教育学部 附属長野中学校・施設ページへ

信州大学 SHINSHU UNIVERSITY | 教育学部 附属長野中学校

学校紹介 本校の研究 入学案内 NEWS & TOPICS 生徒・保護者の方へ 後援会等 アクセス

トップページ > NEWS & TOPICS > 令和6年度より新教科「あさひのLearning (学際的な学習の時間)」を実施します

NEWS & TOPICS

2024/04/19 研究活動 重要なお知らせ

令和6年度より新教科「あさひのLearning (学際的な学習の時間)」を実施します

信州大学教育学部附属長野中学校では、文部科学省「教育課程特例校※」の指定を受け、令和6年度より新設教科「あさひのLearning」を全学年で実施します。

教育課程特例校とは
文部科学大臣が、学校教育法施行規則第55条の2等に基づき指定する学校において、学校又は地域の実態に照らし、より効果的な教育を実施するための特別的教育課程を編成することを認めた学校のことです。

NEWS

- NEWS一覧

カテゴリー一覧

- 重要なお知らせ
- お知らせ
- 生徒の皆さんへ
- 保護者の方へ
- 入学案内
- 研究活動

年別に見る

年を選択してください